

## ブランド材の供給と需要拡大

### 1. ブランド材の供給

#### (1) 高国木曽ひのき (マルコウ マルコク キソヒノキ)

日本三大美林の一つである木曽の天然ヒノキ林からは、銘木として評価が高い天然林材を供給しています。これを代替できるような林齢80年生以上の高齢級人工林から生産されたヒノキ丸太であって高品質なものを「高国木曽ひのき」として販売しております。「高国木曽ひのき」は伊勢神宮式年遷宮をはじめ多くの文化財で使用されており、末尾に産地の森林管理署名を表示しております。

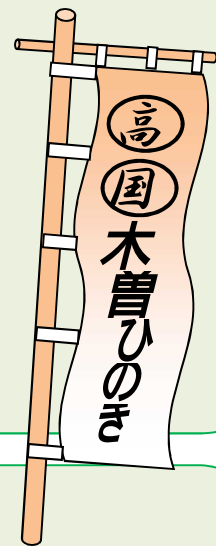


マルコウ マルコク

# 高 国 木曾ひのき

年齢 有林

木曾森林管理署、南木曾支署では、平成 25 年度より木曾谷の国有林野から生産される、林齢 80 年生以上の高年齢級人工林ヒノキについて、良質な素材を「**高 国**木曾ひのき」(呼称：マルコウ マルコク キソヒノキ)と称して販売しています。



## 極印の押印



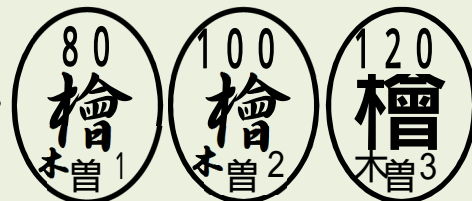
80 年生以上の人工林ヒノキの内、以下の丸太の木口に極印を打ちます。

長級 4 m 以上かつ径級 30 cm 以上の尺上材

長級 4 m 以上かつ径級 24 cm から 28 cm の中目材

ただし、のうち、曲材、多節材は除きます。

極印は、右の 3 種類を使用します。(左から林齢 80 ~ 99 年生、100 ~ 119 年生、120 年生以上)



## 資源の活用に向けて

木曾谷の国有林野の面積は、89,452 ha を有し、天然林が 55%、人工林が 45% となっています。人工林に占めるヒノキ林の割合は 67% で、この内、80 年生以上の高年齢級ヒノキは、約 30% (約 8 千 ha 約 247 万 m<sup>3</sup>) を占め、中でも明治 20 年 (1887 年、126 年前) に植栽されたヒノキ林 (大桑村天王洞国有林) が、最も古い人工林ヒノキ林として存在しています。

今後、70% を占める 79 年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高年齢級ヒノキの蓄積が増えることが期待されることから、継続的な「**高 国**木曾ひのき」の生産・販売に努めて参ります。

平成 31 年 4 月から、木曾署産は「**高 国**木曾ひのき(木)」、南木曾支署産は「**高 国**木曾ひのき(南)」と表示しています。

## 高年齢級ヒノキの特徴

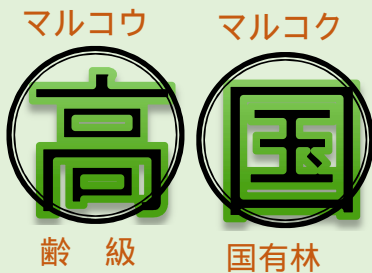
木曾谷から産出される 80 年生以上の人工林ヒノキは、

厳しい自然条件で生育しているため、年輪が緻密で狂いが少ない。

淡黄白色の精楚な色合いを呈し、香気と光沢に富んでいます。







# 木曾ひのき 東濃ひのき

東濃森林管理署では、平成31年度より管内の国有林野から生産される林齢80年生以上の高齡級人工林ヒノキについて、良質な素材を

「**高** **国** 木曾ひのき(東濃)」(マルコウ マルコク キソヒノキ)

「**高** **国** 東濃ひのき」(マルコウ マルコク トウノウヒノキ)  
と称して販売しています。

## 極印の押印

80年生以上の人工林ヒノキの内、  
長級4m以上かつ径級30cm以上の尺上材  
長級4m以上かつ径級24cmから28cmの中目材  
ただし、のうち、曲材・多節材は除きます。  
極印は、3種類を使用します。

(左から林齢80~99年生、100~119年生、120年生以上)



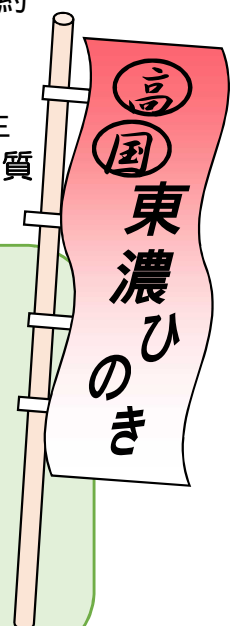
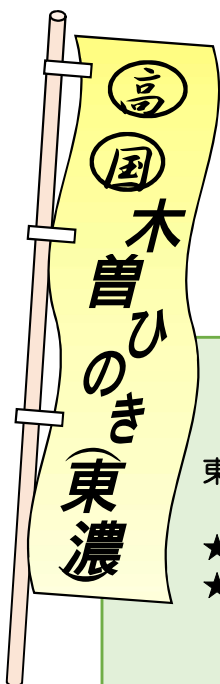
東濃署管内の国有林面積は、21,111haを有しており、人工林率は45%となっています。人工林に占めるヒノキの割合は77%で、この内、80年生以上の高齡級ヒノキは約25% (約1,800ha、約621千m<sup>3</sup>) となっています。

今後、75%を占める79年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高齡級ヒノキの蓄積が増えていきます。継続的に良質な木材の生産と販売に努めて参ります。

## 高齡級ヒノキの魅力的な特徴

東濃署管内の国有林から産出される高齡級人工林ヒノキは、

- ★年輪が緻密で狂いが少なく木目が美しい。
- ★東濃ひのきはピンク色でつやがあり、香り高く、製材品は「東濃ヒノキ」ブランドとして高い人気があります。木曾ひのき(東濃)は、木曾署や南木曾支署で生産される木曾ひのきの淡黄白色に近い色合いを呈するなどの特徴があります。



平成31年度以降の東濃森林管理署産の人工林ヒノキのブランド化等について  
(お 知 ら せ)

A材のブランド化の推進については、中部森林管理局の重要な取り組みとして位置づけられている。

木曽森林管理署・木曽森林管理署南木曽支署(以下「木曽署・南木曽支署」という。)では、平成25年度から林令80年生以上の高齡級人工林ヒノキについては、天然木曽ヒノキに替わるものとして、「**高****国**木曽ひのき」と呼称、ブランド化・差別化し販売してきている。

一方、東濃森林管理署(以下「東濃署」という。)においては、天然木曽ヒノキは、木曽署・南木曽支署と同様に「木曽ヒノキ」として販売してきたが、高齡級人工林については同様の呼称をしていない。

今後、天然木曽ヒノキの資源量が減少していくこと等を踏まえ、別紙のとおり呼称について改正し、ブランド化を推進する。

(主なポイント)

- 1 東濃署から産出される80年生以上の高齡級人工林ヒノキについても「**高****国**木曽ひのき」と呼称できることとし、木曽署・南木曽支署で一体的に「木曽ひのき」としてブランド化し販売する。
- 2 産地を明確にするために、ブランド名の最後に(木)(南)(東濃)を付け加える。  
(木):木曽署産、(南):南木曽支署産、(東濃):東濃署産)
- 3 「**高****国**木曽ひのき」に該当する品質のものであって、東濃ブランドを重視する方が適当な場合には、「**高****国**東濃ひのき」と呼称できることとする。
- 4 木曽署・南木曽支署から生産される、79年生以下の人工林ヒノキについては、「木曽ひのき」、東濃署から生産される人工林ヒノキについては「東濃ひのき」又は「木曽ひのき」と呼称し、他地域の人工林ヒノキとの差別化を図ることとする。
- 5 天然の木曽ヒノキについては、人工林ヒノキとの違いを明確にするため「天然木曽ヒノキ」と呼称することとする。

以上

別 表

改正後				
人天別	署等	林齢	銘柄名（原木）	銘柄名（製品）
天然木	木 曾 南木曾 東 濃		天然木曾ヒノキ	天然木曾檜
人工林	木 曾	80 上	高(国) 木曾ひのき（木） （高品質なものは極印付き）	高(国) 木曾ひのき
	南木曾	80 上	高(国) 木曾ひのき（南） （高品質なものは極印付き）	高(国) 木曾ひのき
	東 濃	80 上	高(国) 東濃ひのき、 （高品質なものは極印付き）	東濃檜
			又は高(国) 木曾ひのき（東濃） （高品質なものは極印付き）	高(国) 木曾ひのき
	愛 知 (段戸国 有林)	100 上	段戸 SAN	特になし
	木 曾	79 下	木曾ひのき（木）	きそひのき
	南木曾	79 下	木曾ひのき（南）	きそひのき
東 濃	79 下	東濃ひのき 又は、木曾ひのき（東濃）	東濃檜 又は、きそひのき	

現 状				
人天別	署等	林齢	銘柄名（原木）	銘柄名（製品）
天然木	木 曾 南木曾 東 濃		木曾ヒノキ	天然木曾檜
人工林	木 曾	80 上	高(国) 木曾ひのき （高品質なものは極印付 き）	高(国) 木曾ひのき
	東 濃	なし	ひのき	東濃檜
	木 曾	79 下	ひのき	きそひのき
	東 濃	なし	ひのき	東濃檜

## (2) 信州プレミアムカラマツ

平成 29 年 5 月 25 日、長野市のビックハット(国際ウッドフェア開催中)において、長野県知事、中部森林管理局長、長野県森林組合連合会代表理事会長、長野県木材協同組合連合会理事長の 4 名が出席し、信州産カラマツのブランド名『信州プレミアムカラマツ』を発表しました。

長野県産の林齢 80 年生以上の高齡級カラマツ人工林から径級 30 センチ以上の良質な大径材丸太を厳選し「信州プレミアムカラマツ」として販売しております。





# 信州プレミアムカラマツ

長野県産の林齢80年生以上の高齢級カラマツ人工林から  
径級30cm以上の良質な大径材丸太を厳選し  
「信州プレミアムカラマツ」と称して供給・販売を開始します。

## 高齢級カラマツの特徴

人工林カラマツは、高齢になるほど木材の性質が安定化し、ねじれにくい成熟材の多い大径材になります。

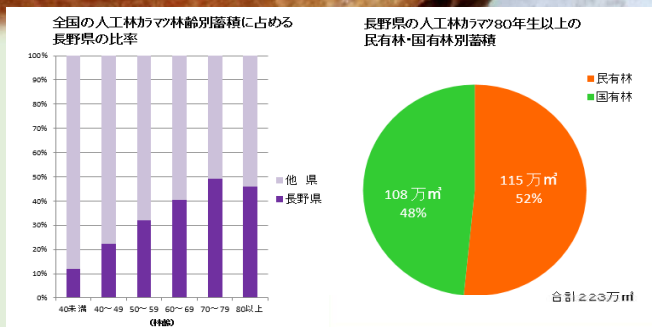
スギやヒノキと比べ強度が優れており、心材部分は飴色できれいな木目をいかした無垢材として構造用等の建築材に使用されています。

林齢80年生以上の資源量は長野県が国内の45%を占め、全国一の資源量を保有しています。

## 高齢級カラマツの資源量

林齢50年生前後の森林が大半ですが、大正から昭和初期に植栽された人工林から大径材丸太を生産します。

今後は**高齢大径材**が安定供給されますので、高品質な製品としての利用を推進します。



## 信州プレミアムカラマツの供給

長野県内から生産される丸太の中から、規格\*1に合った材を厳選して、主に長野県各地の原木市場等に供給します。

市場では、のぼり旗によるPRや木口に産地、林齢を表示する外、物件明細にも「信州プレミアムカラマツ」と表示しブランド化を図ります。

\*1：別紙（裏面）の品質・規格です。

時間とともに飴色に



長野県産カラマツの民有林材の供給・利用に関すること  
長野県林務部県産材利用推進室  
電話 026-235-7266 (直通) 026-232-0111 (代表) 内線3275  
F A X 026-235-7364 E-mail:mokuzai@pref.nagano.lg.jp

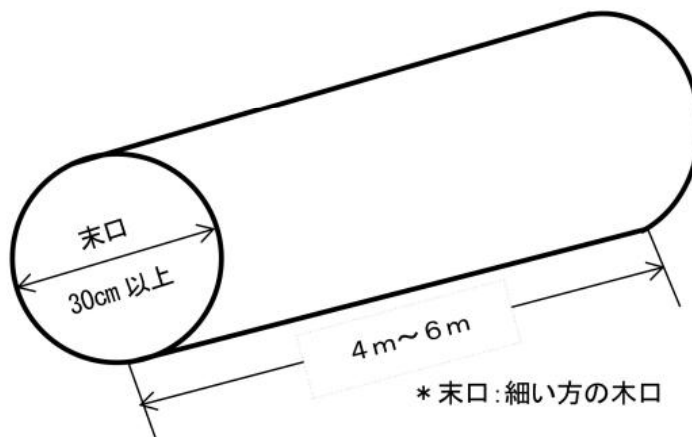


長野県産カラマツのブランド材の規格、国有林材の供給に関すること  
林野庁中部森林管理局資源活用課  
電話 050-3160-6567 (直通) FAX 026-236-2686 E-mail: c.shigen@maff.go.jp

別紙

## 「信州プレミアムカラマツ」の規格

- ・林 齢 80年生以上(人工林)
- ・長 さ 4m～6m
- ・直 径 30cm以上



- ・品 質 素材の日本農林規格1等、2等に相当するもの。

- ・節: 隣接2材面がないもの
- ・曲がり: 数が1個であって10%以下のもの
- ・腐れ、空洞、木口割れ、引き抜け、目まわり等の欠点が軽微なもの。



### ( 3 ) 段戸 S A N

愛知森林管理事務所管内の段戸国有林は、古くは 1893 年に植栽されたヒノキの造林地をはじめ、面積の 90%以上を人工林が占めています。その中でも 100 年を超える林分から生産された高品質な丸太については「段戸 SAN」と表記し販売しております。



# 段戸<sup>SAN</sup>の取組み について

愛知森林管理事務所が管理する段戸国有林は、約5,300haの面積を有し、その約90%が人工林で、植林樹種は、ヒノキが78%を占めています。



段戸国有林 79い林小班

人工林の齡級分布は、若齡林から高齡林まで比較的バランスがとれており、その中には100年生以上の林分が10%あり、最も古いものは明治26年(1893年)に植林されています。

現在、当所では段戸国有林から産出される**林齡100年**を超える素材販売の際に、**段戸<sup>SAN</sup>**と表示しています。

**段戸<sup>SAN</sup>**の「SAN」には、**段戸山、段戸産及び愛称としての「さん」という意味を込めています。**また、のぼりのキャラクター「**段戸さん**」は、その昔、段戸地域の木材を利用し、ろくろを回し、お椀やお盆を作っていたと言い伝えられている**木地師**をイメージしています。



木材の利用促進や地域における県産木材利用が求められている今日、是非愛知県北設楽郡設楽町に所在する段戸国有林の**段戸<sup>SAN</sup>**をお買い求め頂きますよう、よろしくお願い致します。



林野庁 中部森林管理局 愛知森林管理事務所

(平成31年4月1日現在)



# 段戸 SAN 販売状況



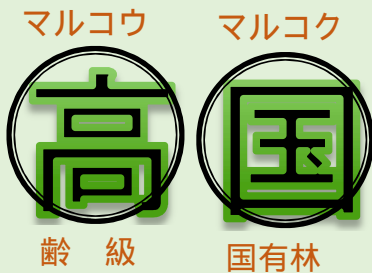
(株)東海木材相互市場にて



(4) 高国東濃ひのき (マルコウ マルコク トウノウヒノキ)

平成 31 年度から東濃森林管理署管内の林齢 80 年生以上の高齡級人工林から生産されるヒノキ丸太のうち高品質なものを「高国木曾ひのき」又は「高国東濃ひのき」として販売しております。





# 木曾ひのき 東濃ひのき

東濃森林管理署では、平成31年度より管内の国有林野から生産される林齢80年生以上の高齡級人工林ヒノキについて、良質な素材を

「**高** **国** 木曾ひのき(東濃)」(マルコウ マルコク キソヒノキ)

「**高** **国** 東濃ひのき」(マルコウ マルコク トウノウヒノキ)  
と称して販売しています。

## 極印の押印

80年生以上の人工林ヒノキの内、  
長級4m以上かつ径級30cm以上の尺上材  
長級4m以上かつ径級24cmから28cmの中目材  
ただし、のうち、曲材・多節材は除きます。  
極印は、3種類を使用します。

(左から林齢80~99年生、100~119年生、120年生以上)



東濃署管内の国有林面積は、21,111haを有しており、人工林率は45%となっています。人工林に占めるヒノキの割合は77%で、この内、80年生以上の高齡級ヒノキは約25% (約1,800ha、約621千<sup>3</sup>m) となっています。

今後、75%を占める79年生以下の人工林ヒノキが順次生育し、高齡級ヒノキの蓄積が増えていきます。継続的に良質な木材の生産と販売に努めて参ります。

## 高齡級ヒノキの魅力的な特徴

東濃署管内の国有林から産出される高齡級人工林ヒノキは、

- ★年輪が緻密で狂いが少なく木目が美しい。
- ★東濃ひのきはピンク色でつやがあり、香り高く、製材品は「東濃ヒノキ」ブランドとして高い人気があります。木曾ひのき(東濃)は、木曾署や南木曾支署で生産される木曾ひのきの淡黄白色に近い色合いを呈するなどの特徴があります。

